

同時代史学会主催：日韓シンポジウムのご案内

1945年以後の北東アジア史をどうみるか

――冷戦後を見据えて――

2018年には朝鮮半島を中心に北東アジアのありようが大きく変化し始めました。旧来の冷戦構造が終焉に向かいだした現在、この地域の歴史をとらえ直すことが改めて今の私たちに求められています。

同時代史学会は、こうした状況を踏まえて、1945年以降の歴史の新たな見取り図を描いていくために、下記の要領で日韓シンポジウムを開催することにしました。

日時 2019年7月13日（土） 13時から18時

場所 早稲田大学国際会議場第一会議室（早稲田キャンパス）

パネリスト

鄭在貞（元東北亜歴史財団・ソウル市立大学）

学習から競争へ - 朴泰俊と浦項製鐵における日本

南相九（東北亜歴史財団）

教科書の韓国戦争の記述から考える北東アジア史 - 韓国を中心として北朝鮮・日本・中国の教科書を比較する

Juljan BIONTINO（千葉大学）

宇都宮徳馬（1906-2000）の朝鮮観と韓国・北朝鮮における影響 - 「自民党の一匹狼」

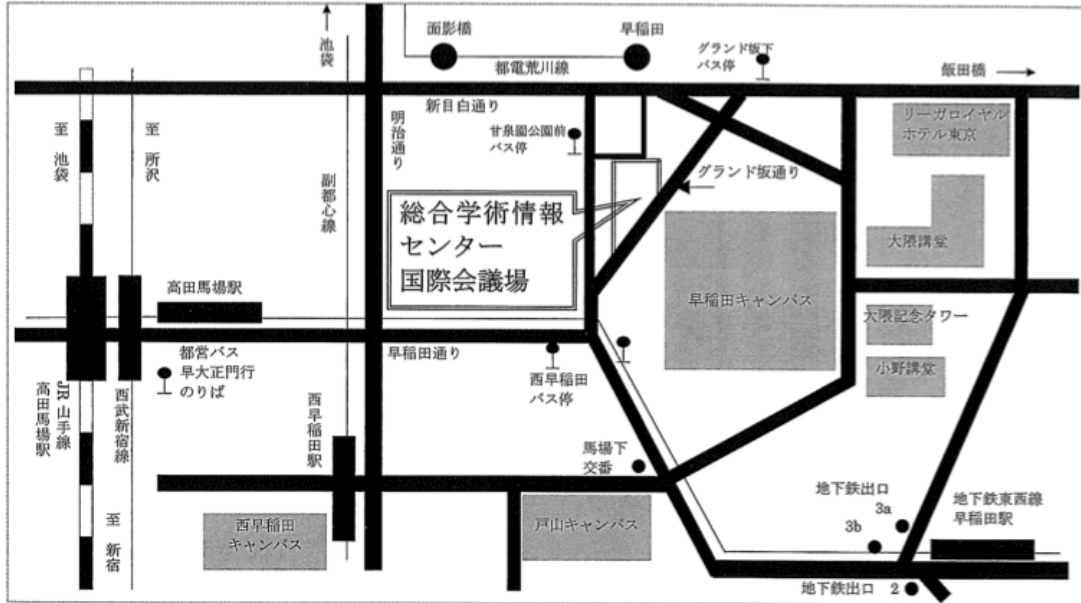
コメンテータ 小林知子（福岡教育大） 玄武岩（北海道大）

松田春香（大妻女子大）

使用言語 日本語と韓国語（通訳がある予定です）

（本シンポジウムはハーバード・エンチン研究所の助成を受けております。）

早稲田大学国際会議場案内図



早稲田大学国際会議場 東京都新宿区西早稲田 1-20-14

- JR 山手線 / 西武新宿線
- 都営バス (学バス)
- 地下鉄副都心線
- 高田馬場駅 徒歩 20分
- 高田馬場駅 ~ 西早稲田 徒歩 5分
- 西早稲田駅 徒歩 20分
- 地下鉄東西線
- 都電荒川線
- 三ノ輪駅 ~ 早稲田 徒歩 5分
- 早稲田駅 徒歩 10分